



Daito Chuo Osaka Japan

第2660地区 大東中央ロータリークラブ

*事務所

〒574-0046

大東市赤井1-2-10-4F

TEL : 072-872-6349

FAX : 072-872-6552

E-mail : dc-rc@eagle.ocn.ne.jp

ホームページ http://www.dcrc31477.com/



*例会

毎週水曜日 12:30~13:30

ホテル阪奈

〒574-0012 大東市龍間266-8

TEL : 072-869-0181

FAX : 072-869-0105



CREATE HOPE
in the WORLD

■会長:青田朝代 ■幹事:岩本静江 ■会報委員長:住川奈美

RI会長 ゴードン R. マッキナリー

2023~2024年度

国際ロータリー・テーマ

世界に希望を生み出そう

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

第 1135 回 例会 令和 5 年 11 月 1 日

歓迎！ 延原健二 ガバナー 公式訪問



開 会 点 鐘 : 12:30
 ロータリーソング : 「奉仕の理想」
 来 客 紹 介 : 親睦活動委員長
 会 長 の 時 間 : 会 長
 諸 報 告 : 幹事、各委員長、出席報告、ニコニコ箱
 卓 話 : RI第2660地区ガバナー 延原健二 氏
 閉 会 点 鐘 : 13:30

延原健二 ガバナー プロフィール

生年月日 1961年1月23日

勤 務 先 株式会社 延原倉庫株式会社 代表取締役社長

所 在 地 〒531-0077 大阪府大阪市北区大淀北1-6-5

【職業分類】 倉庫業

【経 歴】

1985年 関西医科大学卒業

1985年 関西医科大学精神神経科入局

2004年 関西医科大学精神神経科助教授

2007年 富士ゼロックス株式会社 産業医

2009年 延原倉庫株式会社代表取締役 現在に至る

【ロータリー歴】

2013年10月3日 大阪大淀RC入会

2016-17年度 幹事

2018-19年度 副会長、クラブ奉仕・親睦活動委員長

2019-20年度 地区クラブ奉仕・拡大増強委員会 委員

2020-21年度 会長

2021-22年度 IM第1組 ガバナー補佐

2022-23年度 地区青少年奉仕統括委員会 委員長

2021-23年度 地区規定・決議審議委員会 委員

2021-23年度 地区研修委員会 委員

2021-22年度 地区大阪・関西万博関連事業

推進委員会 委員

2021-23年度 地区大阪・関西万博関連事業

実行委員会 委員

【その他】

ロータリー財団 メジャードナー

ロータリー財団 ベネファクター

ロータリー財団 マルチプル・ポールハリス・フェロー

ロータリー財団 ポール・ハリス・ソサエティ

米山功労者

【賞罰】

なし



《 会長の時間 》



会長 青田 朝代

『ハロウィン ——ケルト文——』

こんにちは。もうすぐ10月31日のハロウィンを迎えます。昨今では、茶道の世界でもハロウィンの設えでお茶を楽しむ機会が増えてきました。

ハロウィンはケルト文明が起源のお祭りです。ケルト文明圏は、現在では、日本から西へ1万キロ。ヨーロッパの最西端に息づいています。

ケルト人というのは、人種を指すのではなく、「ケルト語」を用いてきた「文化集団」を指します。現在のヨーロッパ言語を話す人々の祖先は、紀元前4500年、紀元前3500年、紀元前2500年と、民族大移動によって、東から「西へ」、太陽の沈む方角へ向かって移動してきました。その中で最西端に到達した人々が、ギリシャ人によって「ケルトイ」と呼ばれました。

ケルト人が到達したユーラシアの最西端は、大風がうなる断崖絶壁で、その先には波が逆さ巻く大西洋が横たわっていました。厳しく広大な、そして世界の果てである大西洋は、ケルト人にとって「異界——異世界——」への入り口でした。この考え方は、波高い海に囲まれた島国である我が国にも共通する感覚です。

ケルト文明はローマ文明よりも古く、ヨーロッパの基礎となる文明です。今日世界的に有名となった「ハロウィン」のように、ヨーロッパのふとした所にケルト文明の名残が残っています。「西洋文明」には、実は多様な起源、複数の水源があるのです。

では、ケルト文明の特徴をいくつか挙げてみます。

- ・「多神教」と「自然崇拝（アニミズム）」。
- ・「靈魂の不滅」と「輪廻転生」を信じていました。
- ・書き文字を持たず、「語り」や「装飾芸術」が盛んでした。彼らにとって言葉とは「言霊」のことで、文字ではありませんでした。
- ・「円環」、「渦巻文様」、幻想的な生き物が絡み合う「動物文様」、うねうねとした「組紐文様」など繰り返される文様が特徴です。
- ・冶金術・金工技術に優れ、ローマよりも先に鉄器文明を築きました。

ケルト芸術は、「万物は変化し、流転する」という世界観を持っています。



命は循環し、エネルギーの大きなうねりが螺旋運動を続けていくのが宇宙であり、自然であるという感覚・自然や生命の神秘という目に見えない世界が、視覚的な芸術に反映されているです。

大阪の万博公園に、岡本太郎氏が製作した「太陽の塔」があります。その顔や、内部の生命の渦の造形は、岡本太郎がフランス留学中に触れたケルト(ガリア)文明と我が国の縄文文明との響き合いから生まれたものではないかと言われています。

その他、ケルト文化は日本のサブカルチャーに多大な影響を与えています。アーサー王物語と円卓の騎士は、ゲーム『ドラゴンクエスト』、『Fate』シリーズ、漫画『七つの大罪』などに。動物を神とする文化は、『魔法使いの嫁』などに。ケルトの神官(シャーマン)の「ドルイド」、語り部の「吟遊詩人」もよく取り入れられる設定です。

ハロウィンの起源はそんな世界観を持つ人々のお祭りでした。

古代人は、太陽と月そして星たちと人との「むすびつき」や「つながり」を絶やさぬよう祈りを込めて「暦」をつくり、季節ごとの「祀り」を行ってきました。ケルトには特に重要な4つの季節祭があり、ハロウィンもその一つです。

ハロウィンの暦の起源は、「すべての死者の霊」を供養する古代中世ケルトの「万霊節＝サウイン」にあります。

「サウイン」は、アイルランド・ゲール語で「夏の終わり」を指します。一年に一度、家に帰ってくる祖先や親しい死者たちの霊をテーブルに招き、静かに供養する夜でした。日本のお盆に近いかもしれませんが、それだけではありません。

ケルトの新年は11月1日なので、「サウイン」は4つの季節祭の「一番目」の祀りにあたるのです。ケルトでは、「サウイン」の夜に新旧の時が「反転」し、浄化され、翌朝には新しい年が来ると信じられていました。11月1日のイヴは、一年を夏と冬の二つに分ける古いケルトの暦の、夏と冬の「境目」。

「光の半年」から「闇の半年」へと時空が大きく反転する日なのです。

北ヨーロッパに生きる人々は、この境目の季節に超自然的な出来事が起こると考えてきました。『サウインの夜には異界に通じる扉が開く』『あの世とこの世の往来が起こる』『怪物が現れる』などの神話や伝説が残っています。

サウインの夜には、時間の流れが渦巻いて逆流もし、新旧の時間が交代し、過去・現在・未来が混じり合い、死者と生者の区別がなくなり、あの世とこの世が繋がるのです。

死者が蘇ることができるのは、時間が通常の流れを逸して 激しく回転し始めるからです。蘇った死者たちは、彼らが過去に留まっていなかった証として、現在を生きる生者たちに、未来の予言を行います。

この死生観の背景にあるのは、北ヨーロッパの厳しい気候風土です。食料が枯渇する「冬の始まり」は、「死の季節の始まり」であることを覚悟する夜でもありました。

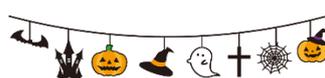
そんな恐ろしい季節に異界の扉が開けば、ますます恐ろしいことが起こるかもしれません。古代ケルトの人々は、死者たちの霊を供養で鎮め、安寧な新年の到来を予祝する精霊となってもらいました。同時にこれは彼らが生み出した死の恐怖の克服方法なのです。



混沌としたサウインの夜を無事乗り越えた後には、新しい秩序が生まれ、次にやってくる生命の周期が動き出すのです。冬の入口に、新旧の時間と生命が交代するという暦は、現在の西洋文化にも受け継がれています。

ケルト文明は日本文化に共鳴する部分と、相反する部分があるように思います。日本で10月末はまだまだ「収穫の秋」真っ盛りですし、お盆は夏に既にありますので、ハロウィンから「冬や死の世界の始まり」という部分が削ぎ落とされて、仮装やお菓子交換の楽しさが心に響いたのでしょう。岡本太郎氏の天才さにも改めて感銘を受けました。

何はともあれ、今年も楽しくハロウィンを過ごしましょう。



[幹事報告]



幹事 岩本 静江

①2024-25年度（次年度） 地区委員会出向者推薦について
当クラブは、荒金会員が地区職業奉仕委員会へ引き続き出向致します。
興味のある方は、11月10日(金)迄にご連絡下さい。

②2024年ロータリー国際大会（シンガポール） 登録料早期割引のご案内
日程：2024年5月25日～29日

会場：マリーナ米・サズ・エキスポ & コンベンションセンター/ナショナルスタジアム

登録料に含まれる内容：

- ・国際大会 開会式、閉会式、本会議、分科会、友愛の家への入場
- ・ロータリーの公式宿泊手配業者であるMaritz Global Events社を通じてホテルを予約した場合には、ホテルから国際大会会場までの交通

12月15日までに早期割引登録となります。参加の方は早めにお申し込みください。

世界と希望をわかちあおう

シンガポール 2024年5月25日～29日



登録カテゴリー	2023年5月27日～31日	2023年6月1日～12月15日	2023年12月16日～2024年3月31日	2024年4月1日～5月29日
クラブ会員、会員以外の方、または同伴者 (31歳以上)	\$450	\$500	\$595	\$695
クラブ会員、会員以外の方、または同伴者 (30歳以下)	\$150	\$175	\$225	\$275
5～18歳の同伴者	\$20	\$20	\$30	\$40
5歳未満の同伴者	無料	無料	無料	無料
土曜日、友愛の家のみ	\$60	\$60	\$60	\$100





●)) 先週の卓話 ((●



『今さら聞けないLINE講座』

モバイルパートナー

山本 聖也 氏



日常に欠かせないスマートフォン、
その中でもLINEアプリの利用者は9500万人まで増えていますが、
使い方を教えてもらえる場所が追いついていないこと、教え方が人によってバラバラ、という点が現状の課題だと感じています。

1番相談を受けるのが、家族や身近な方ですが、「怒られた」という体験や、やり方を教えてもらえず、問題解決だけ行って、2回目以降、聞きづらいという方も多くいらっしゃいます。ご家族以外に相談が行くのが、携帯ショップ、福祉に携わる方、ボランティアサポーターなど、親身に相談に乗ってくれる方へ相談が多いですが、本来の業務内容と違うことを聞かれても、答えられない質問や、サポート側の負担が増えてしまっていることもお聞きました。そんなお話を聞いたきっかけから、相談をしやすい第3の居場所があったら良いなと思い、スマホ教室の活動を行いました。

数年ぶりに再会してお話が弾むご近所の友人や、離れている家族・友人と連絡を取るきっかけになり、初めての緊急事態宣言から約3年半、外出のきっかけやコミュニケーションの機会を作ることにも繋がっていると感じています。

教え方がバラバラ、という点について、今回教科書を作成させていただき、困ったときに自分で解決したり、同じ教科書があると、質問がしやすくなり、繰り返し練習を行い、自信をつけてもらうことにつながると感じています。

日常に欠かせないスマホを活用し、コミュニケーションを増やすことから、地域の孤独をなくすこと、これから進むデジタル時代に取り残される方が出ないような取り組みに繋がっていきたいと思います！

